

LPM2023June 13-16, 2023
Hirosaki, Aomori, Japan**国際会議開催趣意書**

会議名称	LPM2023 第 24 回レーザー精密微細加工国際シンポジウム The 24th International Symposium on Laser Precision Microfabrication
会 期	2023 年(令和 5 年) 6 月 13 日(火)～6 月 16 日(金) (会期 4 日間) 準備日：6 月 12 日(月)
会 場	弘前文化センター 青森県弘前市下白銀町 19-4 (TEL 0172-33-6561) * 新型コロナの状況次第でハイブリッド開催になる可能性もあります。
主催団体 連 絡 先	一般社団法人レーザー加工学会 (Japan Laser Processing Society) 〒567-0047 大阪府茨木市美穂ヶ丘 11-1 大阪大学接合科学研究所気付 TEL/FAX: 06-6879-8642, E-mail: lpm2023@jlps.gr.jp (担当：寺岡) 主催団体 URL：http://www.jlps.gr.jp/ LPM2023 ウェブサイト http://www.jlps.gr.jp/lpm/lpm2023/
主な委員	ジェネラルチエア：新納弘之（産業技術総合研究所） コチエア：岡本康寛（岡山大学，レーザー加工学会理事・副会長） 財務リーダー：寺川光洋（慶應義塾大学） 実行委員長：花田修賢（弘前大学）
会議目的 と 性 格	1. 当該分野において基礎研究者，エンドユーザー，レーザーマニファクチャラーが一堂に会し，レーザー材料相互作用の基礎科学からレーザー加工技術の現状，次世代のレーザー加工のトピックスまで幅広く議論できる。 2. 高機能材料のマイクロ/ナノオーダーの微細加工を中心に，レーザー加工の幅広い分野の研究が一堂に会する。 3. 除去加工，成形加工，付着加工，表面改質等，レーザーの特徴を活かした新規的な加工法の提案や詳細な検討が行われており，将来のレーザー加工技術に関して討論できる。
日本開催 経 緯	レーザー精密微細加工国際シンポジウムは 最先端レーザー加工の科学と技術を扱う国際会議であり，本会議は 過去に 23 回開催され，国内外より高い評価を得ております。2023 年に開催されます第 24 回レーザー精密微細加工国際シンポジウム（LPM2023）は，基礎から産業応用まで，ソフトウェアは勿論，ハードウェアもカバーし，プレナリーセッション(基調講演)，スペシャルセッション，口頭セッション，ポスターセッション，テーブルトップ展示の併設を予定しております。世界のレーザー加工をリードする多数の研究者が集うことから，当会議を通し，レーザー加工を支える科学基盤を 確立することはもとより，レーザー加工技術の実用化を制限する要因，それを克服するために必要な将来技術および将来市場の予測などが明確になることを目的としています。

開催年 開催地 出席者数	LPM2000 埼玉 大宮ソニックシティ 13 カ国 181 名 (うち海外 42 名) LPM2001 シンガポール 17 カ国 151 名 (うち海外 105 名) LAMP2002 阪大コンベンションセンター 18 カ国 375 名 (うち海外 110 名) LPM2003 ドイツ・ミュンヘン 22 カ国 205 名 (うち海外 142 名) LPM2004 奈良県新公会堂 18 カ国 264 名 (うち海外 86 名) LPM2005 米国ウィリアムズバーグ 14 カ国 157 名 (うち海外 134 名) LAMP2006 京都リサーチパーク 22 カ国 368 名 (うち海外 162 名) LPM2007 オーストリア・ウィーン 23 カ国 194 名 (うち海外 156 名) LPM2008 カナダ・ケベック 24 カ国 205 名 (うち海外 166 名) LAMP2009 神戸国際展示場 28 カ国 340 名 (うち海外 174 名*) LPM2010 ドイツ・シュツットガルト 27 カ国 201 名 (うち海外 163 名) LPM2011 サンポート高松 18 カ国 253 名 (うち海外 81 名*) LPM2012 米国ワシントン DC 18 カ国 162 名 (うち海外 123 名) LAMP2013 新潟・朱鷺メッセ 23 カ国 336 名 (うち海外 167 名) LPM2014 リトアニア・ピリニウス 24 カ国 238 名 (うち海外 198 名) LAMP2015 北九州国際会議場 24 カ国 341 名 (うち海外 179 名) LPM2016 中国・西安 20 カ国 221 名 (うち海外 189 名) LPM2017 富山国際会議場 22 カ国 264 名 (うち海外 130 名) LPM2018 英国エジンバラ 23 カ国 358 名 (うち海外 318 名) LAMP2019 広島国際会議場 24 カ国 361 名 (うち海外 175 名) LPM2020 ドイツ・ドレスデン→WEB 24 カ国 216 名 (うち海外 182 名) LPM2021 オンライン開催 19 カ国 187 名 (うち海外 94 名) LPM2022 ドイツ・ドレスデン (集計中) (ハイブリッド開催)	
	LAMP (レーザ先端材料加工国際会議) は, LPM (レーザ精密微細加工) と HPL (高出力レーザ加工) の 2 つのシンポジウムで構成されている。 LPM2020 は、ドレスデン衛生博物館での現地開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響で欧州中央時間でのオンライン開催（全てライブ配信）となった。 LPM2021 は当初、弘前市での現地開催を予定していたが、新型コロナウイルスの影響によりオンライン開催となった。（プレナリーセッションのみ欧州時間でのライブ配信とし、他は時差を考慮し、オンデマンド動画発表となった。質疑応答は Post-A-Question 機能で実施した。）	
予想人数 参加国数	20 カ国 250 名 (国内 150 名, 海外 100 名)	
プログラム 概要	初日 : 開会式, プレナリーセッション, 招待講演・一般・学生の口頭発表 2 日目 : 招待講演, 一般・学生口頭発表, ポスター発表 3 日目 : 招待講演, 一般・学生口頭発表, ポスター発表, 懇親会 4 日目 : 招待講演, 一般・学生口頭発表, アワード表彰式, 閉会式	